

硯海



INDEX

令和3年度会長挨拶／臨時総会・12月例会	2
例会レポート	3
日本YEG事業／行事活動レポート	4
行事活動レポート	5
令和4年度スローガン／山口県商工会議所青年部連合会事業	6
後期新入会員紹介／卒会者からの一言	7

発行

下関商工会議所青年部

〒750-0006 下関市南部町21-19 TEL083-222-3333 ●《URL》<http://www.yeg-shimonoseki.com/> ●《E-mail》yeg@shimonoseki.cci.or.jp

令和3年度会長挨拶



令和3年度
下関商工会議所青年部
第42代会長 高山 徹

あす 強く未来へ 令和3年度をふりかえって

下関商工会議所青年部第42代会長を拝命し、令和3年度のスローガンを「強く未来へ」と掲げて1年間活動を行ってまいりました。今年も新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が延期や中止となりました。思うように活動ができず、心が折れそうにもなりましたが、会員や諸先輩方、そして関係諸団体の皆様が最後まで支えてくださったことで、一步一步前へ進むことができました。心より感謝申し上げます。

我々のメイン事業でもあります「しものせき海峡まつり・源平まつり」は、今年度も通常開催を断念しましたが、過去の映像や写真、神事の様子などをインターネットやテレビで放映したり、市内観光施設での写真パネル展や衣装の展示など、次回開催にむけて新たなまつりの魅力を発信させていただきました。また、例会や各種会議も幾度となくリモートでの開催を余儀なくされましたが、まさにニューノーマルを取り入れ、その中で青年部活動や社業に役立つ新しい発見も数多くありました。感染症や経済状況など、時代とともに目まぐるしく変化する世の中への素

強く 未来へ あす

早く対応することの必要性を感じつつ、一方でリモートではなく人と人が直接対面し体温を感じ、語らい合い、気持ちを通わせ合えることがどれほど貴重で有難いことかを痛感した1年でもありました。

令和4年度は中尾宏至新会長のもと、会員がさらに団結し諸先輩方が築いてこられた歴史や伝統を大切にしながらも、新しい時代を創造するために強く前進してまいります。今後とも下関商工会議所青年部への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

1年間、本当にありがとうございました。

臨時総会・12月例会



12月8日(水)、下関グランドホテルにおいて、12月例会及び臨時総会を開催しました。

新型コロナウイルス感染防止対策として、会場内では出席者の社会的距離の確保と、会場の十分な換気などを行いました。臨時総会では議長の嶋崎会員のもと、令和4年度の会長選出が行われ、中尾副会長が満場一致の拍手によって令和4年度・第43代会長に承認されました。緊張感が漂う中、次年度会長挨拶として中尾副会長よりこれまでの青年部活動への想いと、次年度へ向けての熱い想いが語られました。

令和3年度もコロナ禍のため、思うように青年部活動が出来ない状況でしたが、令和4年度は中尾次年度会長のもと新たな組織で、どの

ように下関YEGを引っ張っていくのか期待感が高まる臨時総会となりました。



10

月例会



雇用から自社企業を見つめ直す

担当 下関創生委員会

10月8日(金)、Zoomにより、下関創生委員会「雇用から自社企業を見つめ直す」を開催しました。

本例会は、会員企業が今ある雇用を継続し、かつ新たな雇用を創出する方策を学び自社を客観的に見直す機会創出を目的として、下関市長前田晋太郎様と株式会社リージョナルマネジメント北尾洋二様を講師としてお迎えいたしました。

前田市長からは「地元企業の成長」、「都心部からの企業誘致」、「スタートアップ企業の支援」の3つの柱をもとにした下関市における雇用創出に向けた取組みをお話いただきました。

また、北尾様からは近年の若者における「はたらく」概念の変化や昨今の雇用の変化、そして明日からできる採用手法などのお話いただきました。



11月8日(月)、商工会館において、会員研修委員会「後期新入会員3分間スピーチ」及び地域活性化委員会「事業承継～次代の源平まつりへ向けて～」を開催しました。

まず、会員研修委員会「後期新入会員3分間スピーチ」では、3名の後期新入会員がスピーチを行いました。3名の会員とも、緊張ながらも、自身のキャラクターをしっかりと発揮していました。

続いて、地域活性化委員会「事業承継～次代の源平まつり

事業承継～次代の源平まつりへ向けて～ 後期新入会員3分間スピーチ

担当 地域活性化委員会
担当 会員研修委員会

へ向けて～」では、事業承継が大きな課題となっている源平まつり事業の「見える化」や後継会員の育成を目的とし、過年度に作成されたまつりの動画、及び過日開催されたまつりの大スタッフ会議の動画を視聴しました。その後、源平まつり実行委員長経験者である末次一博OBに、講和をしていただき、まつりの歴史、実行委員長経験者としての経験談・事例が紹介され、現役会員に対する熱い想いを伝えていただきました。



11

月例会

1

あなたの知らないクラウドファンディングの世界

担当 経営委員会

月例会



11月11日(火)、商工会館において、経営委員会「あなたの知らないクラウドファンディングの世界」を開催しました。

本例会は、多くの中小企業において事業領域の拡大や業態転換が求められている昨今、クラウドファンディングという新たな資金調達の方法を知ると共に、経営戦略に役立つ要素を学ぶ機会とすることを目的として企画さ

れました。

まず、田中卓意会員(なお、田中会員は、昨年、自身でクラウドファンディングを立ち上げ、目標金額を達成しています。)が、クラウドファンディングの用語や仕組みの説明を行いました。次に、西田稔会員が、クラウドファンディングの事例を紹介し、各事例の検討を行いました。そして、吹原健仁会員が、下関におけるクラウドファンディングの事例を、事業者に対するインタビューを踏まえて紹介しました。

本例会は、様々な角度からクラウドファンディングを知ることができる機会となり、非常に充実したものでした。



やっていますか?あなたの会社のブランディング

担当 広報委員会

2月8日(火)、商工会館において、リアル参加とZoom参加を併用するハイブリッド方式により、広報委員会「やっていますか?あなたの会社のブランディング」を開催しました。

本例会は、すべての企業又は事業者共通する集客や人材の確保という課題に対して一助となるブランディングを学ぶことにより、自社又は自らのイメージや価値を高める考え

の契機とすることを目的として、有限会社デザイン エートゥ・ゼットの代表取締役重村光寛様を講師としてお招きしました。

重村様からは、新型コロナウイルスによる消費者の購買傾向の変化をまずご説明いただき、ブランディングの定義、手法、事例などを踏まえて、ブランディングの重要性を講義いただきました。



2

月例会

3

Graduation message ~YEGへの想いを未来(あす)へ繋げて~

担当 広域連携委員会

月例会



3月8日(火)、下関グランドホテルにおいて、リアル参加とZoom参加を併用するハイブリッド形式により、広域連携委員会「Graduation message ~YEGへの想いを未来(あす)へ繋げて～」を開催しました。

本例会は、本年度卒会者15名にYEG活動を通して培われてきた熱い想いをスピーチしていただき、新型コロナウイルスが蔓延し、先行きが不安定な現在でも、下関YEGの後輩メンバーたちが、本年度スローガンにある「強く未来(あす)へ」の一步を踏み出し、前へ突き

進んでいけるようにと企画され開催されたものです。

卒会者から後輩メンバーたちへのスピーチでは、「下関YEGを県内はもとより県外でも盛り上げてほしい。」「生涯の仲間を見つけて、卒会する時に下関YEGに入って良かったなと感じてほしい。」など、これから下関YEGを担っていく後輩メンバーたちに溢れんばかりの願いや想いを話されました。多くのメンバーは後輩メンバーたちに寄り添った熱い言葉に胸を打たれました。

日本YEG事業

日本商工会議所青年部 第39回中国ブロック大会 いばら大会

10月16日(土)、岡山県井原市において、オンライン参加(Youtube視聴)を原則とする現地参加とのハイブリッド形式により、「日本商工会議所青年部第39回中国ブロック大会いばら大会」が開催されました。下関YEGからは、高山会長をはじめ3名がオンライン参加し、青松会員研修委員長が現地参加しました。

下関YEGの参加者が登録した第1分科会は、作家・ビール文化研究科の端田晶様による「東洋のビール王馬越恭平に学ぶ経営学～渋沢栄一との奇縁～」という演題の講演を聴講しました。講演は、東洋のビール王と呼ばれていた馬越恭平氏の生い立ちや功績などに関する内容であり、馬越恭平氏が訴えていたビール原料の国内自給などの考え方は、現在の半導体不足への対応にも通じるものがあるなど、非常に勉強になりました。

コロナ禍の影響で懇親会はなく、また、運営の難しさを伴うオンライン参加原則での開催でしたが、運営方法など今後の参考となる大会でした。



日本商工会議所青年部 第39回全国会長研修会 山紫水明の地茨城つちうら会議

11月18日(木)から11月20日(土)にかけて、日本商工会議所青年部第39回全国会長研修会「山紫水明の地 茨城つちうら会議」が、茨城県土浦市で開催されました。下関YEGからは、高山会長、中尾副会長、青松委員長(日本商工会議所青年部 山口県代表理事)が参加しました。

全国の商工会議所青年部の指導的役割を担う会長、次期会長予定者に向けて、「地域経済を担うリーダーとしての資質向上と意識高揚を図るとともに、青年部の当面する課題等について意見交換を行い、次年度単会事業に反映するよう青年部組織の活性化と一層の充実資する」を目的に各種研修会が開催されました。

コロナ禍であることを鑑み、現地参加とオンライン参加を融合したハイブリット型の開催でした。現地ではコロナ禍においても活動様式を工夫しながら活動する他単会の状況を伺い、コロナ禍での単会運営について多くのヒントを得ることが出来る大変有意義な研修会となりました。



日本商工会議所青年部 第41回全国大会 SETOの都 香川たかまつ大会

2月25日(金)・26日(土)、オンライン開催により、日本商工会議所青年部第41回全国大会「SETOの都 香川たかまつ大会」が開催されました。下関YEGからは、高山会長をはじめ4名が参加しました。

会員総会では、令和5年度の日本YEG会長に高松YEGの木村麻子君が選任されました。また、記念講演では、佐藤康雄様が講演していただきました。佐藤様の講演では、東京都緊急消防援助隊の総隊長として、東日本大震災時に福島第一原子力発電所に派遣され放水冷却作戦に臨み、命がけで炉心溶融の拡大防止に尽力したことや、消防のあらゆる実務経験に基づくリーダー論を聴けることができ、貴重な経験となりました。



行事活動レポート

【公開委員会】会員研修委員会 令和3年度下関商工会議所青年部OB会第20代会長 松尾明一氏による『雑草の魂』

12月2日(木)、商工会館において会員研修委員会担当の公開委員会「令和3年度下関商工会議所青年部OB会第20代会長 松尾明一氏による『雑草の魂』」を開催しました。

はじめに、会員研修委員会の青松委員長より趣旨説明がありました。



下関商工会議所青年部OB会を知るとともに、青年経済人として気概や情熱を学び、今後の活動に活かしていくことがこの公開委員会の目的となります。

第1部「OB会とは?」では、1年間の行事や会員数の推移をそれぞれ説明いただきました。

また、第2部「現役時の経験」で

は、会員研修委員会の坂本副委員長がコーディネーターを務め、OB会松尾会長の現役時代のご経験について深掘りしてお話いただきました。

先輩から教わった教訓やご自身の失敗談、活動して良かった事を交えながら、YEG活動や人生についてアドバイスをいただきました。



【公開委員会】会員研修委員会 喜志永良治氏による講演『しくじり先生 俺みたいになるな!』

2月17日(木)、商工会館において、会員研修委員会による公開委員会「喜志永良治氏による講演『しくじり先生 俺みたいになるな!』」を開催しました。



喜志永OBの現役時代の失敗からの教訓を聞き、会員に「勇氣」を与えるとともに、各自のYEGとの向き合い方を学ぶことがこの公開委員会の目的となります。喜志永OBは失敗談や成功体験を紹介されるとともに、下関YEGの会員が活動していく上で、大切な教訓についてもお話いただきました。会員にとって、自己研鑽や今後の活動に活かせる教訓を学べた意義深い公開委員会となりました。

【公開委員会】下関創生委員会『もっと早く知りたかった効果的な求人票の書き方と自社にあった応募者の見抜き方』

3月18日(金)、商工会館において、下関創生委員会による公開委員会「もっと早く知りたかった効果的な求人票の書き方と自社にあった応募者の見抜き方」を開催しました。

本公開委員会には、実際に求人を行っている、あるいはこれから求人を考えている会員が参加しました。嶋崎会員による講演では、獲得したい人材像を明確にした上で求人票を書くことの重要性や、求人票の項目ごとの記載のテクニックなど、実践的な求人票の書き方を学びました。そして、実際に応募が来てからの面接・採用までの流れを、山崎会員が経験を基に講演しました。両会員の充実した指導や講演により、大きな学びを得た公開委員会となりました。



行事活動レポート

下関海響マラソン2021 ボランティア

11月7日(日)、2年ぶりの開催となった下関海響マラソン2021に我々下関YEGもボランティアスタッフとして参加いたしました。

夜も明けぬ時間から集まり、各々配属地につきメンバー一丸となって2年ぶりの海響マラソンを安全にかつ安心に運営できるよう、感染対策をしっかりと行いながら、担当委員会である経営委員会の川口委員長、西山副委員長の指示のもと無事に執り行いました。

今年度もコロナの影響でなかなか思うような



のメンバーが参加しました。そのため、すべての運営をとてスムーズに遂行することができました。なお、途中、参加ランナーの一人が倒れ、メンバーで医師である伊藤賢三会員が緊急出動するという神がかり的な出来事もありました。

活動ができな
いなかで、
久々の地域
貢献活動
を行うこと
ができ、例
年以上に
下関YEG

久々に一生懸命ボランティアをさせていただき、あっという間に時間が過ぎた一日でした。



ツール・ド・しものせき2021

3月27日(日)、晴天のもと、「ツール・ド・しものせき2021」が開催されました。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しての開催となりました。大会実行委員長を高山会長が務めました。下関YEGからも約30名が参加し、当日は朝5時30分に集合して参加者の対応をし、検温と健康チェックシートの確認、アルコール消毒を行いました。今年の大会は、ロングコース定員1000名の方が参加されました。参加者も会員も汗をかきながら、大盛況な大会となりました。



山口県歩いてみた2022

3月1日(火)から15日(火)にかけて、下関YEGが主管となり、県連事業「山口県歩いてみた2022」を開催しました。この事業は、「やまぐち健康アプリ」とLINEのオープンチャットを使用し、歩いた総歩数と、歩いた先々で撮影した写真を競う内容でした。写真については、巧拙ではなく、熱意とセンスが重視されました。県内のYEGメンバー多数が参加し、オープンチャットでは毎日投稿がなされるなどして、非常に盛り上がりしました。



下関花いっぱい計画

12月5日(日)、下関景観協議会様からのお誘いにより、下関花いっぱい計画に参加いたしました。

12月の朝という寒い中でしたが、YEGメンバー21名と、ご家族8名が参加しました。前回の参加者は14名だったため、2倍以上の参加人数です。

メンバーは下関市役所前の市民広場に集合し、高山会長の挨拶があった後、花壇の場所へ移動を開始しました。

今回の花壇の場所は下関警察署近く、みずは銀行の道路をはさんだ向かい側でした。市役所からは多少距離があり、20分程歩いてやっと到着しました。

落ち葉と雑草がいっぱいの花壇を、花が植えられるように準備します。

準備が終わると、ようやく花植です。恒例となったYEGの花文字を植えるとともに、今回は阿部専務理事の発案でYEGのロゴマークを型取りました。出来はいいでしょうか？



令和3年度第1回苦和会

11月28日(日)、朝陽カントリークラブにて、令和3年度第1回苦和会を開催しました。

OB会員8名と現役会員10名、総勢18名で「エンジョイ!ゴルフ!」のスローガンのもと、ゴルフを楽しみました。

天候にも恵まれ、最高のゴルフ日和の中、スコアを競い合いました。優勝者である吉永OBからは、「次回も呼んでいただきたい。」との言葉をいただきましたが、現役会員も負けなようにゴルフを頑張りたいと思います。



社会福祉協議会寄付

下関YEGは社会福祉事業の一環として、下関YEGが開催した各事業やゴルフ同好会「苦和会」においてチャリティー募金を行っています。ご協力いただいた結果、令和2年度と令和3年度では、合計6万2305円を集めることができました。そして、3月14日(月)、高山会長と阿部専務理事が下関YEGを代表して下関市社会福祉協議会へ伺い、募金していただいた浄財を寄付しました。



家族親睦事業「牧場BBQ親睦会」

3月21日(月)、原会員の牧場において、会員交流委員会が企画した家族親睦事業「牧場BBQ親睦会」を開催しました。会員を含む49名が参加し、2年ぶりに開催された家族親睦事業ということもあり、BBQ、食材を獲得するゲーム、乳牛の乳しぼり体験など、大変盛り上がりしました。また、会員のご家族(特にお子さん)が喜んでい
る様子がよく伝わり、良い1日となりました。





令和4年度
下関商工会議所青年部
第43代会長 中尾 宏至

感謝と笑顔 ～仲間を信じ仲間と共に活動する～ 令和4年度 会長所信

【はじめに】

下関商工会議所青年部は、今年度で43年目を迎えます。長い年月をかけ下関商工会議所青年部の礎を築いていただいた諸先輩方と、受け継いだ熱い想いと伝統のもと共に未来へ向けて活動してくれる仲間へ心より感謝申し上げます。

【スローガンへの想い】

一昨年より新型コロナウイルス感染症の蔓延で、私たちを取り巻く環境が大きく変わり、活動の様式においても変革が求められてきました。今年度は、向上心と柔軟な発想を持ってこの環境の変化を受け止め、単なる危機と捉えず、成長するための機会へ変える第一歩としたいと考えています。そこで今年度は、どのような環境下においても仲間と共に活動できる機会に「感謝」し、「笑顔」を忘れず向上心を持って仲間と共に明るく活動していくため、スローガンを「感謝と笑顔～仲間を信じ仲間と共に活動する～」と掲げました。



【最後に】

下関商工会議所青年部の会員一人一人が、青年部活動を通じ青年経済人としての成熟度を増すことが、下関商工会議所青年部の成長と下関の明るい未来へつながると私は考えます。そのために私は仲間と共に一つでも多く成長を感じられる年度となるよう精一杯邁進してまいります。

山口県商工会議所青年部連合会事業

第4回会長会議

1月22日(土)、Zoomにより、山口県商工会議所青年部連合会第4回会長会議が開催されました。

当初は光YEGの主管で、光の地にてリアルで開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況と感染予防を考慮し、Zoomによる開催となりました。下関YEGからは、高山会長をはじめとする5名が参加しました。

本年度の事業の報告、そして次年度の事業の検討、様々な事項が協議・審議されました。なかでも、下関YEGが主管となっていましたが、新型コロナウイルスを考慮して延期されたソフトボール大会の代替案として、「山口県歩いてみた2022」の企画が発表されました。鹿子木会員交流委員長が熱意のこもった説明を行ったことにより、参加者の皆さまが同企画に期待していただけようでした。

臨時総会・第5回会長会議・令和3年度会員アワー

3月5日(土)、山陽小野田市立図書館及び山陽小野田市民館にて、山口県商工会議所青年部連合会臨時総会、第5回会長会議及び令和3年度会員アワーが開催されました。今回は現地参加のみの開催となりましたが、下関YEGからは高山会長をはじめとする12名で参加しました。

令和3年度会員アワーでは、各単会からの「お国自慢大会」が行われました。下関YEGからは戎屋直前会長、内田(仁)監事及び川口経営委員長が登壇し、「しものせき海峡まつり」の魅力を熱弁しました。出席された他単会の方からは「説明も分かりやすく、とても見ごたえのある紹介動画で改めて下関の素晴らしさを感じた」などと評価の高いご意見をいただきました。



また、会員アワーの中で開催された卒会式では、青松県連直前会長、戎屋直前会長が滝本県連会長から卒会証書を手渡されました。そして、出席された卒会者10名を代表して青松県連直前会長が謝辞を述べられ、これからYEG活動を担っていく後輩たちへの熱く温かなメッセージに多くの出席者が心打たれました。

後期新入会員紹介



田邊 雄太
謝豚屋

この度後期新入会員で入会いたしました田邊雄太です。

謝豚屋という居酒屋で

店長をしています。

YEGに入会してわたしは人とのつながりを大事にしたいと思っています。

たくさんの先輩方からYEGのことを学び、会にも積極的に参加していきますので、よろしくお願いいたします。



松野 真士
住吉工業(株)前田工場

令和3年度後期新入会員の松野真士と申します。まだ入会して日も浅いですが、コロナ禍で活動

制限されており、この期間の活動出来なかった事業内容の継承、運営にも苦慮されているように感じております。

限られた時間になりますが、活動の一助となれば幸いです。

出会いと参加出来る活動を大切にしながら、下関が少しでも発展出来るように貢献出来ればと思っております。

ご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。



松本 和也
フラットフィールド(株)

令和3年度後期新入会員の松本です。

入会後の3分間スピーチは貴重な体験ができた

と思います。前期ではリアル開催ではなくリモートでのスピーチだったみたいですが、後期ではリアル開催で実施できた事も運が良かったと思います。

コロナ禍という状況下ではありますが、YEG活動に貢献できればと思っています。活動を通して先輩方との交流を深め、早く顔を覚えてもらい、今後の活動に繋げていきたいです。

卒会者からの一言

青松 永哲 (株)青松商店
H21年入会



素晴らしい同期との出会いから始まりました。13年間YEGが生活の一部であり、たくさんの方々と知り合うことができました。令和元年度は会長を、令和2年度は県連会長を、そして今年度は日本YEG山口県代表理事も経験させていただきました。活動していく中で多くの方々に協力してもらい助けられたこと本当に感謝です。青年部での貴重な経験をこれからの社業や自分自身に必ず活かして参ります。

後輩の皆さんはYEGとして下関に誇りを持ち、常に向上心を持って行動して下さい。これから益々のご活躍を楽しみにしています。



額原 尚吾 医療法人 青寿会 武久病院
H29年入会



平成29年度後期に入会し、最後の一年は休会という形になりご迷惑をお掛けし申し訳なく思っております。

YEGでは様々な方と出会い、多くの経験をさせていただきました。この経験を糧に自身の成長に活かしていければと思います。皆様ありがとうございました。



戎屋 章弘 下関豊南
H13年入会



平成13年25歳の時に入会し21年間YEG活動を行わせていただきました。楽しい事!辛い事!悔しい事!大勢の仲間と共に沢山の思い出が出来ました。

先輩・後輩・同い年、癖の強いおっさんだらけでしたが、気持ちが安らぐ場所でもありました。一体どれだけのお酒を飲んだでしょうか?どれだけの時間をYEGの仲間と過ごしたでしょうか?卒会しても絆を大切にしたいと思っています。

21年間本当にありがとうございました。



岡本 孝之 (株)タカトモ
H28年入会



波立った人生の中40歳に入会し、入会無くしては深いご縁をいただけなかったであろうオモシロイ方々と楽しく活動をさせていただきました。

テンプレ的になってきましたが、お陰様で青年?、中年が終わっても未永く楽しい時間を共有できる仲間が増えました。

約5年という短い在籍でしたが、この下関において、延いては更に広い地域において下関商工会議所青年部が大変意義ある団体であることを体感しました。

感染症等により大変な時勢となっております。今後も様々に従来同様では無い対応が求められる流れが続くと思われしますが、そんな時こそ青年の柔軟な対応が求められるのではないかと思います。

今後益々の会のご発展をお祈り致します。



嶋崎 豊人 社会保険労務士法人 あいわOffice
H29年入会



平成29年度に入会し、5年間在籍させていただきました。当初は長いように思えた5年間も振り返ればあっという間でした。この会に参加させていただいたことで、日々の仕事だけでは会うことの出来ない方々と沢山交流させていただきました。長い人生の中でも30代、40代という最もイベントの多い時期に、信頼できる沢山の仲間達と出会えたことには感謝しかありません。会は卒業ですが、ここで頂いたご縁は私にとって一生の宝物です。

最後になりますが、会の更なる発展と皆さんの益々のご活躍を祈念いたします。

本当にありがとうございました。



杉本 康平 杉本康平税理士事務所
H18年入会



YEG入会間もない頃、山口新聞の東流西流にコラムを書かせていただく機会をいただきました。小学校一年生の算数の授業で、引き算の文章問題を作るという課題。息子は「魚が11匹ありました。お父さんが6匹食べました。僕が3匹食べました。妹が2匹食べました。おいしかったです」という情緒にあふれた回答をしましたが、先生は赤ペンで「お父さんが6匹食べました。僕が3匹食べました。あと何匹残っているでしょう」と。残さず食べたうに美味しかったのだから素晴らしいじゃないですか。この回答のポイントはもう一点、お母さんが登場しないところですね。そんな息子も21歳の大人になり、お父さんはYEGを卒会します。



卒会者からのひと言

西田 稔 (株)ハートフーズ21 H22年入会



平成22年、入会のきっかけは、当時の社長に「君はまだ視野が狭い。外の世界を知りたい。」という突然の一言からでした。私はその意味が全く分からず、その時は視野が狭いとみじんも感じていませんでしたので、

若干の反発心を抱いていたことを今でも覚えています。そして入会以降、YEGを通じて数多くの方々に出会い、人を知り、様々な経験をさせていただいたことで、その「視野が狭い」と言う意味を今になってハッキリと理解することが出来ました。

YEG活動を通じて開けたこの視界を、社業や自身の成長のために今後もしっかりと活かしていきます。長い間本当にお世話になりました。



西山 和宏 下関唐戸魚市場(株) H31年入会



平成31年度前期に入会し、3年間という短い期間でした。仕事の都合でほとんど参加ができなく、皆さんにご迷惑をおかけしました。

コロナ禍で、思うように活動ができなかったが、オンラインでの例会や委員会が開催されて、新しい活動が見られました。今後も、新しい下関YEGの活動と、皆さんのご活躍を願っています。



新田 裕基 みんなの蔵ぶ H30年入会



平成30年後期に入会し、あつという間の3年半でした。半分以上の月日を新型コロナによる影響を受け、まだまだ色々な経験やメンバーとの交流をしたかったというのが本音です。YEGの魅力の一つ

は社会人になってからでも異業種の方や色々な経験をしてる方達と仲間になれる事だと思います。そんな仲間達、経験した事や学んだ事は僕にとってかけがえのない宝物です。感謝しありません。これから何か関われる事やお手伝いできる事があれば積極的に参加させて頂きたいと思っています。本当にお世話になりました。ありがとうございます。



松本 竜至 (株)安成工務店 H24年入会



9年半のYEG活動を通して皆さんの先輩・仲間と出会えました。ここで出会った方々全てに感謝です。福岡からの転勤後、同世代の友人がいない中で入会しましたが、そこで出会ったメンバーとYEGの理念に突き動かされ、まさに「おっさんの青春」

でした。初理事でのふぐ鍋担当は辛かったです(笑)。会員交流委員会の委員長時は毎月のように事業の参画・運営を行いフル回転しました。しものせき海峡まつり参画委員会では源平まつり実行委員長を拝命してギリギリの精神状態でしたが、メンバーの支えがあり完遂することができました。一度、最後の例会で理事挨拶の際に言った「委員長を一年経験して“help me”が言えるようになった」がまさに最後に想うことです。皆さまありがとうございました。下関YEG万歳!



三口 竜佑 (株)みなと H24年入会



平成24年に入会し、皆さんの仲間や先輩と出会うことができました。大変だったことも多々ありましたが、それ以上に、楽しい思い出がたくさんできました。何よりも、仲間との絆ができたことに感謝しています。

今まで、大変お世話になりました。これから下関YEGのますますのご発展を祈念しています。



村田 鮎子 村田鮎子税理士事務所 H22年入会



平成22年度後期に入会し、青年部活動を通じて多くの出会いと学びがありました。この11年半を振り返るとどれが一番印象的な思い出であったか決められないくらいに毎年楽しく活動させていただいたなあという感想しかありません。

寂しくなりますがみなさまのご縁は今後も繋がっていくと信じております。そして益々のご活躍を心から祈念しております。本当にありがとうございました。



山口 晋作 (有)カギの110番 H20年入会



何も知らない、解らない私にとって、YEGでの活動は正に未知への挑戦と言っても差し支えない出来事でした。仕事で得られる経験とは全く別口からの経験を多くさせてもらい、今思えば本当に感謝しております。

終わりを迎えてみて何よりも良かったと感じたのは、素晴らしい方々と多く知り合えたということでした。

これはYEGに入会していなければ絶対に手に入らなかったものですし得難い財産です。多くの方々に支えてもらいなんとか卒会出来ます。

皆様14年間本当にありがとうございました。



山崎 隆規 光風園病院 H29年入会



会社の指示でYEGに入会し、始めはとても緊張したのを思い出します。

私はサラリーマンですので自分がこの会でやっていけるのだから心配でした。さまざまな活動に参加して沢山の仲間ができて、仕事でも助けてもらい、そんな不安はいつしか無くなりました。今は同世代の経営者たちにとっても刺激をもらっています。入会して良かったなと思います。

私も負けずに日々努力していきたいと思っています。

短い間でしたが大変お世話になりました。今後もよろしくお願い致します!!



山本 裕明 (有)山本保温 H22年入会



平成22年後期に入会し、今思えばあつという間の12年間でした。

YEGでたくさんの人と出会い、たくさんのエネルギーを頂き、YEGに入会できたこと、皆さんに出会えたことを感謝しています。

経験や出会いを今後の社業・自身に活かしていこうと思います。

皆様ありがとうございました。

